

福祉施設の管理者としての適格性を確認するため、公募に準じて選定委員会を設置し、管理運営能力等について審査を行った。

決算審査 特別委員会

○令和3年度行田市一般会計歳入歳出決算認定についてふるさと納税促進事業

問 ふるさと納税に係る事業全体の収支はどうだったのか。

答 令和3年度の寄附受け入れ額から委託費などの直接経費、市民税における寄附金控除額を差し引き、地方交付税の補填額を加えると約932万円のマイナスである。

循環バス運行事業

問 観光拠点循環コースのみ、前年度の利用実績を下回っているが、その要因は何か。

答 令和3年度から右回りのみのルートに変更したところであり、今後の状況も踏まえ、分析していきたい。

高齢者福祉事業

問 緊急通報システムサービス、乳酸飲料等配達サービス事業ではどのような成果が

あったのか。

答 緊急通報システムサービスによる搬送件数は29件、また、乳酸飲料等配達サービスでは、配達員が訪問時に傷病者を発見し、救急搬送した事例など、安否確認依頼件数は53件である。

コロナ禍の救急体制

問 令和3年度の新型コロナウイルスに関わる救急出動件数はどれくらいか。

答 出動件数は64件、その内搬送したのは53件である。



救急車

学力向上支援事業

問 事業の成果として、学力調査等の結果はどのような状況なのか。

答 令和2年度から3年度の県学力・学習状況調査では、県平均をやや下回っていたが、令和3年度から4年度では県平均との差が縮まっている。

一般質問



専用アプリで読み取ると
議会中継がご覧いただけます。

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針等について質問したり、説明や報告を求めたりするものです。12月定例会では16人の議員が一般質問を行いました。各議員の主な質問は次のとおりです。

詳細は次の方法によりご覧ください。

◆インターネット議会中継

市議会の様子（生中継・録画放映）をパソコンやスマートフォンでご覧いただけます。

◆会議録

冊子は市役所市政情報コーナー、図書館でご覧いただけます。なお、会議録はインターネットでもご覧いただけます。

※12月定例会の会議録は3月に発行予定です。



ネーミングライツの 導入について

橋本祐一（みづの）

問 ネーミングライツは命名権のことで、施設などに企業名等を命名して企業においてはビジネスとなり、一方、公共施設の管理運営費を捻出する手段の一つである。本市においても、総合体育館、野球場など様々な施設があり、健康増進や地域のコミュニケーションに役立っている。施設ごとの維持管理費は多額の費用が必要と思われる、少しでも費用の軽減を図り、企業が施設等に命名することにより多くの人にPRできるため、事業者の支援、活性化にもつながると思われる。総合公園野球場や総合体育館等、他の施設も含めスポンサー募集して、運営費用を軽減させる政策を考へてはどうか。

答 総合公園野球場や総合体育館等におけるスポンサー募集した運営費軽減のための施策について、スポンサー企業にとつては、都道府県、政令市の施設や著名なスポーツチームの本拠地など集客力の高い施設では高い広告効果が見込まれる。一方で、長く市民から親しまれてきた施設は、現在のネーミングで愛着を持たれている可能性もあり、市民の合意形成が必要であると考へる。また、命名権の売却額の設定についても十分な調査・研究が必要であると考へている。導入については慎重な判断が必要であり、現在実施している自治体の例を参考に、調査・研究をしていく。

問 財政確保にもつながる政策なので、チャレンジしてほしいがどうか。

答 財源を生み出す有効な手段の1つと認識している。慎重な判断が必要であり、先進事例を調査・研究していく。